

として認められる。

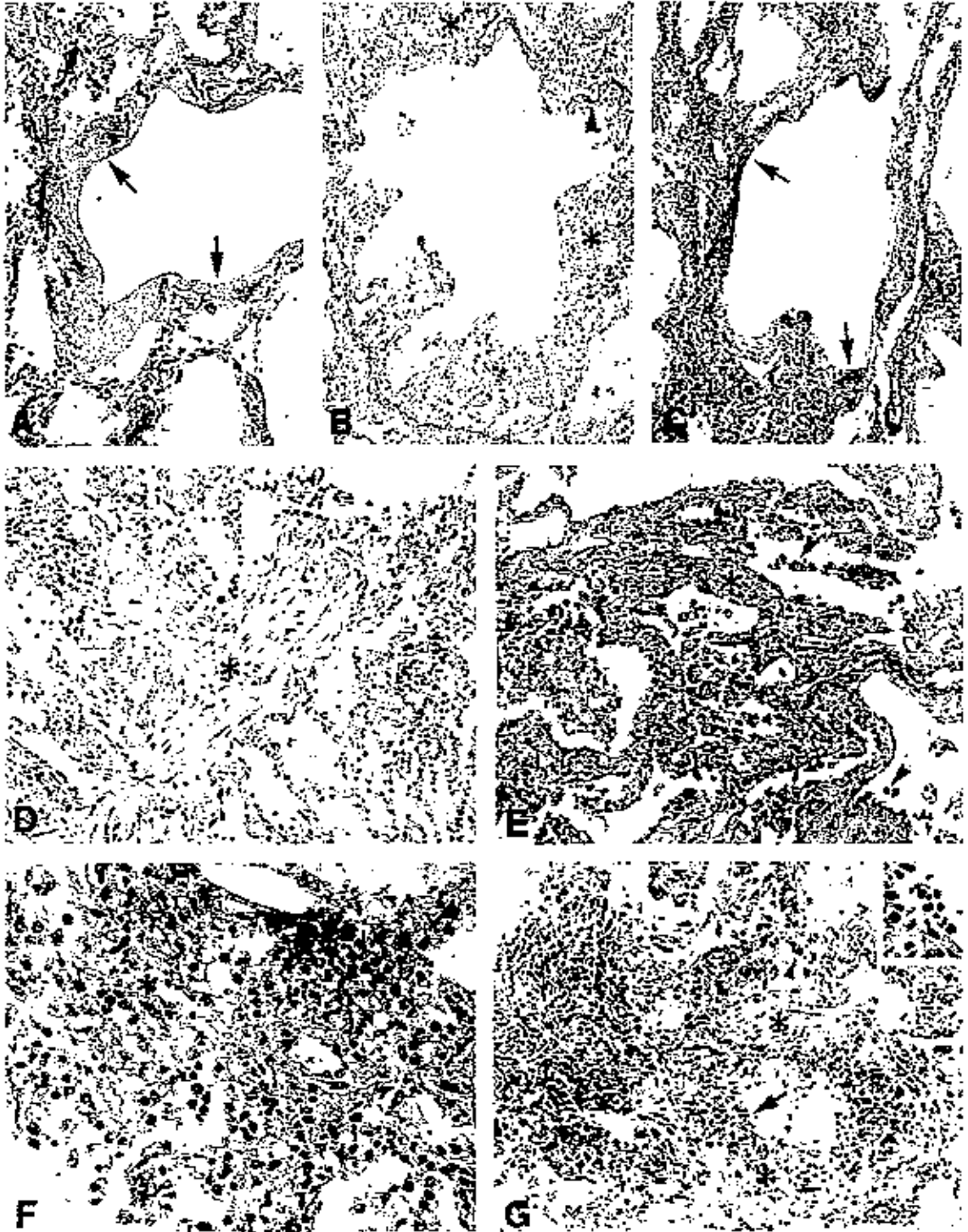


図 12

A,B,C : Gefitinib によるびまん性肺胞障害(DAD) (剖検例)

同一症例に認められる時相の異なる DAD 像 A: 浸出期の DAD で、肺胞道を中心にして肺胞壁を覆うようにして硝子膜 (矢印) をみる。障害後 1 週以内の像をしめす。B: 器質化期の DAD で、腔内から肺胞壁にかけて器質化肉芽 (*) をみる。器質化内に埋没して硝子膜 (矢頭) が認められる。障害後 2 週程度の像である。C: 後期器質化期の DAD で、肺胞道を中心に密な膠原線維の沈着 (矢印) をみる。障害後 4 週程度の像をしめす。(El-Masson 染色)。

D: 消炎鎮痛剤 diclofenac sodium による器質化肺炎(OP) 肺胞腔内にポリープ状の線維化 (*) を認める。肺胞壁、腔内には特発性と比較してやや多めのリンパ球浸潤がみられる。(HE 染色)

E: 消炎鎮痛剤 acetaminophen による非特異性間質性肺炎(NSIP)

肺胞壁は、線維化による肥厚 (*) をしめし、増生 II 型肺胞上皮に覆われる。腔内には、マクロファージ集簇がみられる。一部には、ポリープ状の腔内線維化の名残であるコラーゲン球 (矢頭) をみる。(HE 染色)

F: 消炎鎮痛剤 ibuprofen による好酸球性肺炎(EP)

肺胞壁、腔内 (*) に著明な好酸球浸潤をみる。その他に、腔内には泡沫状マクロファージの集簇と軽度の線維化をみる。また、放出された好酸球顆粒よりなる Charcott Leiden 結晶 (矢頭) も散見される。(HE 染色)

G: 消炎鎮痛剤 loxoprofen sodium によるびまん性肺胞障害(DAD)パターンと著明な炎症細胞浸潤 肺胞道には、上皮の剥離、リング状に器質化肉芽 (*) の形成がある。同部には、著明なマクロファージ集簇を伴い一部では肉芽腫様である。その他に、好酸球 (矢印および挿入図)、リンパ球浸潤を伴う。周囲の上皮細胞 (矢頭) には腫大が目立つ。写真には示さないが、その他に NSIP パターン、OP パターンの部分も認められ、多彩な像をしめす。(El-Masson 染色)

特発性 OP に比し、炎症細胞浸潤が高度の傾向がある。多くは特発性例と同様に予後は良好であるが、薬剤の中止とともにステロイド治療が必要となるような比較的急性発症例も多い。Amiodolon による OP の一部では致死例も報告されている^{1, 12)}。

③ 非特異性間質性肺炎(Non specific interstitial pneumonia; NSIP)

Busulfan、 BCNU、 cyclophosphamide をはじめとした細胞障害性薬剤のほかにも、抗生剤、消炎鎮痛剤、抗てんかん薬、cocaine などの麻薬でも本型の肺障害が報告されている^{7, 8)}。近年、抗リウマチ薬として盛んに処方されるようになった methotrexate による肺障害でも NSIP などの胞隔炎が発症する。

NSIP 病変の分布は、小葉内において比較的均一、びまん性であることが特徴である (図 12(E))。肺胞腔内線維化の形態は、主として壁在型、閉塞型を呈し、時間がたつと肺胞壁を癒合させ線維化肥厚、改築をきたす。部分的な小型の蜂巢肺の形成をみるものもある。一部には、OP と同様のポリープ型腔内線維化が混在している。そのため、時にポリープ型腔内線維化の名残であるコラーゲン球が観察される (図 12(E))。

Elastica Masson 染色は、肺胞壁の弾性線維、膠原線維の分布を確認するのに有用であるが、同染色で観察すると、弾性線維をもつ肺胞の基本構造は保たれているが、腔内線維化による肺胞壁の癒合所見が明らかとなる。NSIP は OP と類似した病態と考えられているが、その違いを生む理由は、OP よりも肺胞上皮障害の程度が強いためである。治療に対する反応性も、一般的に OP よりも悪い傾向をしめす。

④ 好酸球性肺炎 (Eosinophilic pneumonia: EP)

Bleomycin、消炎鎮痛剤、ampicillin、tetracycline、carbamazepine、chlorpropamide、procarbazine、などで EP が起こることが知られている。薬剤障害は EP の原因として重要なものであり、好酸球浸潤は薬剤に対する I 型アレルギー反応によることが示唆されている。EP は、肺実質への好酸球の顕著な浸潤を特徴とする病態である。臨床的に急性 EP、慢性 EP に分けられており、急性 EP の初期を除いて、末梢血中の好酸球増多を伴ってくる。急性 EP では、好酸球浸潤に伴い浮腫、フィブリンの析出などが認められる。慢性 EP では、ポリープ型、壁在型の腔内線維化をきたし、マクロファージ増生を伴ってくることが多い (図 12(F))。細胞崩壊を伴う著明な好酸球浸潤部は、好酸球膿瘍と呼ばれており、肺胞腔内に時に認められる。このような、著明な好酸球浸潤部では、細胞外に放出された好酸球顆粒成分が結晶化して、Charcott Leiden 結晶をつくる。障害組織像の中に Charcott Leiden 結晶を認めた場合、好酸球による障害であるという一つの証拠となる。EP でも、時に重症化して DAD 所見を伴って

くることがあるが、一般的に、治療反応性は良好である。

⑤ パターン分類が困難な薬剤性肺障害

薬剤性肺障害では、しばしば既存のパターン分類に当てはまらない組織像が認められる。各種特発性IPパターンの混在した症例もまれではない。炎症もリンパ球、マクロファージに加えて好酸球の増加が認められる症例も多い(図12(G))。また、肺胞上皮細胞の障害像、大型細胞、多核細胞、異型細胞の出現などが目立つ場合も多い。以上の事実から、病理学的に既存の一つのパターンに当てはまらず、肺胞上皮細胞障害が強く、好酸球をはじめとする炎症反応が強い症例をみた場合、特発性IP以外の病態を考えるが、その一つとして薬剤性肺障害の可能性を疑う必要がある。

3) まとめ

ここに述べたように組織パターンは様々であるが、臨床的に薬剤性肺障害が疑われた場合、特に感染症や腫瘍性病変の除外という意味を含めても、可能な限り BAL・TBLB での検索をすることが望ましいと考えられる。TBLB のような小検体であっても的確な部位から採取されていれば、治療反応性、予後を予測しうる組織パターンの認識と、薬剤性肺障害を示唆する所見を得ることができることも多い。

今後、新薬の開発に伴い、新しい薬剤性肺障害の出現の可能性も高い。我々とは異なる所見をみた場合、常に薬剤性の可能性を考慮して注意深く観察する必要がある。最終的には、臨床・画像・病理の3者による総合的診断が重要となる。

薬剤性肺障害の病理組織像は、特異的なものではなく、また個々の薬剤に対応してある病像を来すわけではないが、薬剤によっては、ある程度の特徴ある病像をしめす。障害部位は、肺胞、気道、血管、胸膜であり、障害の程度、標的部位により様々な像が見られる。このうち頻度、予後、治療において肺胞領域の障害による間質性肺炎が特に重要である。基本的病理像は特発性例に準じて考えられているが、一般的に薬剤性肺障害では、上皮の異型化などの高度な上皮障害をしめすことが多い。また、浸潤する炎症細胞もリンパ球主体で高度であり、時に好酸球を含むなど、多彩な像をしめす。組織型においては、細胞障害性薬剤や gefitinib などの分子標的治療薬によるびまん性肺胞障害をしめす

ものでは、致死率が高く、特に早期の発見が重要である。感染症などとの鑑別も含め可能な限り TBLB、BAL での検索が望ましいと考えられる。

文献

- 1) Camus P, Bonniaud P, Fanton A, Camus C, Baudaun N, Foucher P: Drug-induced and iatrogenic infiltrative lung disease. *Clin Chest Med* 25: 479-519, 2004
- 2) Limper AH: Chemotherapy-induced lung disease. *Clin Chest Med* 25: 53-64, 2004
- 3) 福田悠: II.疾患の病因と病態 9. ゲフィチニブと肺病変-病理学の立場から. *Annual review 呼吸器* Vol.2004: 130-136, 2004
- 4) 抗リウマチ薬アラバ（レフルノミド）の急性肺障害に関する臨床病理学的検討会. 2004年8月29日、国立国際医療センター（事務局代表；工藤宏一郎）
- 5) Colby TV and Carrington CB: Interstitial lung disease. In *Pathology of the Lung*. Edited by Thurlbeck WM and Churg AM, Thieme Medical Publisher, Inc. New York, 1995, pp589-738
- 6) Meyers JL: Pathology of drug-induced lung disorders. In: *Surgical Pathology of Non-neoplastic Lung Disease*. 3rd ed. Edited by Katzenstein AA, Askin FB, WB Saunders, Philadelphia, 1997, pp.81-111
- 7) Flieder DB, Travis WD: Pathologic characteristics of drug-induced lung disease. *Clin Chest Med* 25: 37-45, 2004
- 8) Rossi SE, Erasmus FF, Page MH, et al: Pulmonary drug toxicity: radiologic and pathologic manifestations. *Radiographics* 20: 1245-59, 2000
- 9) Katzenstein AA, Askin FB: Acute lung injury patterns. In: *Surgical Pathology of Non-neoplastic Lung Disease*. Edited by Katzenstein AA, Askin FB, WB Saunders, Philadelphia, 1990, pp9-57
- 10) Fukuda Y, Ishizaki M, Masuda Y, et al: The role of intraalveolar fibrosis in the process of pulmonary structural remodeling in patients with diffuse alveolar damage. *Am J Pathol* 126: 171-82, 1987
- 11) Inoue A, Saijo Y, Maemondo M, et al: Severe acute interstitial pneumonia and gefitinib. *Lancet*. 2003;361:137-139

- 12) Epler GR: Drug-induced bronchiolitis obliterans organizing pneumonia.
Clin Chest Med 25: 89-94, 2004

第5章 治療

薬剤性肺障害の治療の基本は、疑わしい薬剤の中止、副腎皮質ステロイドの投与、呼吸不全への対策、全身管理、である。

治療を開始する前に、薬剤と肺疾患の関連性を考察し、薬剤起因性肺疾患を診断する。特に、基礎疾患に伴う肺・胸膜病変の出現や悪化との鑑別、および免疫能や感染防御能が低下した症例には日和見感染症との鑑別、などが重要である。

1. 治療の実際

治療の基本は、早期の確定診断、疑しい薬剤の中止である。

1) 薬剤の中止

疑わしい薬剤の中止

2) 副腎皮質ステロイド薬

プレドニン換算で 0.5mg~1.0mg/kg/日を原因薬剤、重症度を考慮して投与する。通常、開始量を4週間投与した後漸減する。重症症例ではメチルプレドニゾン 1000mg/日を3日間投与するパルス療法を行う。

2. 治療の反応性

1) 発生機序の観点から

一般に、アレルギーの反応によって発生した肺病変、薬剤性間質性肺炎や好酸球性肺炎、などでは副腎皮質ステロイド治療の効果が期待できる。一方、細胞障害性の機序で発生したびまん性肺胞障害では副腎皮質ステロイド治療の効果は乏しい。

2) 臨床像

薬剤性肺疾患の臨床像と病理組織像は、表 3, 6, 7 に示した^{1, 2)}。臨床像からは、炎症主体の病態、NSIP cellular pattern (NSIP I型)、BOOP、好酸球性肺炎では副腎皮質ステロイドに対する反応性は良好である。

3) 病理組織像

病理組織所見では、基本的には間質性のリンパ球浸潤、時に肉芽腫を認める炎症像が主体で組織障害や線維化がごく軽度から欠如する組織、好酸球性肺炎、肺胞腔内器質化所見、などはステロイド治療に反応が期待できる所見である。一方、びまん性肺胞障害や線維化が高度な所見では反応性は期待できない。

4) 胸部画像所見

胸部レントゲン写真と胸部 CT 所見（特に HRCT 所見）²⁾（表 26）から、好酸球性肺炎、閉塞性細気管支炎・器質化肺炎、過敏性肺炎を示唆する所見の症例はステロイド治療に反応が期待できる。

5) 薬剤リンパ球刺激試験(drug lymphocyte stimulation test: DLST)

薬剤性肺炎の DLST 陽性率は、全体の 66.9%と報告されている³⁾（表 23）。擬陽性や偽陰性の場合もあるので注意を要するが、陽性所見は、薬剤性肺障害が IV 型アレルギー反応によって発症したことを示唆する。このような症例は、アレルギー反応が発症に関与しているので、ステロイド治療に反応が期待できる。また、過敏反応による薬剤性誘起性肺臓炎の診断基準⁴⁾（表 27, 28）を参考にした合致症例もステロイド治療に反応が期待できる。

6) 血清 KL-6

前述したように、血清 KL-6 値は、間質性肺炎、肺線維症の補助診断として有効である⁵⁾。血清 KL-6 値が正常を示した閉塞性細気管支炎・器質化肺炎、過敏性肺炎はステロイド治療に反応するので、薬剤性の場合でもこれらの疾患の場合にはステロイド治療に反応が期待できる。

3. おわりに

薬剤性肺障害の治療の基本的な考え方を図 13 に示す。非心源性肺水腫、ALI/ARDS、びまん性肺胞障害を示す症例は、副腎皮質ステロイドのパルス療法を行い、間質性肺炎 NSIP(I から II 型)、BOOP、好酸球性肺炎ではプレドニンを体重と病態を参考にして投与量を決定する。

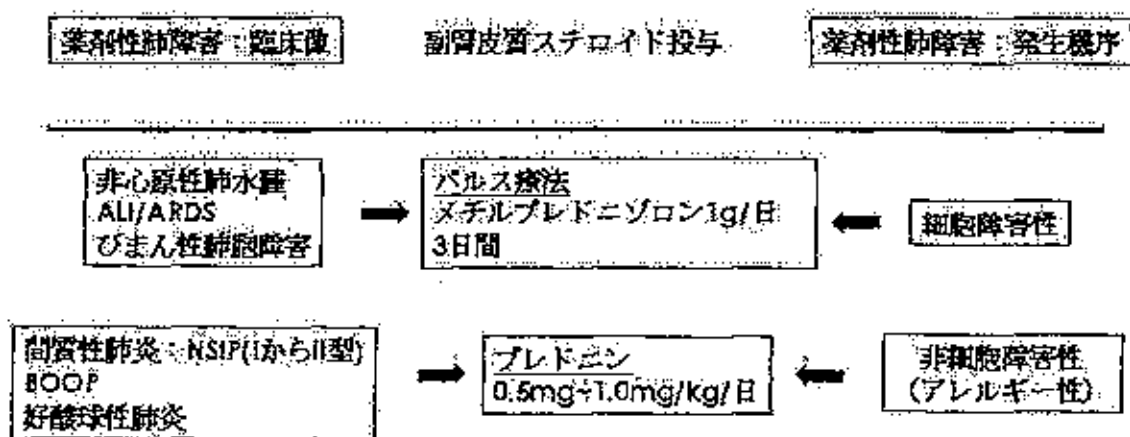


図 13 薬剤性肺障害の治療の概要

文献

- 1) 大中原研一、東元一晃、有村公良、等。薬剤性肺疾患の臨床的特徴
—「アマメシバ」関連性閉塞性細気管支炎を含めて—呼吸 23: 540-545, 2004
- 2) 中山智子、福田悠：薬剤性肺炎の病理像。分子呼吸器病学 8:470-475, 200
- 3) 近藤有好：薬剤による肺障害 結核 74:33-41, 1999
- 4) 田村昌士、薬剤誘起性肺臓炎：川上理一郎 編、間質性肺疾患とその周辺、
金原出版、東京：pp262-270,1983
- 5) Nakajima M, Kawahara Y, Yoshida K, et al. Serum KL-6 as a possible
marker for amiodarone-induced pulmonary toxicity. Internal Med, 39:
1097-1100, 2000.

肺障害を起こす薬剤一覧

第6章 肺障害を起こす薬剤一覧

障害の種類	薬剤名	薬効
アレルギー性肺炎	トラスツズマブ (遺伝子組換え) リツキシマブ (遺伝子組換え)	抗HER2ヒト化モノクローナル抗体抗悪性腫瘍剤 抗CD20モノクローナル抗体抗悪性腫瘍剤
アレルギー性鼻炎	ブランルカスト水和物	ロイコトリエン受容体拮抗剤
息切れ	アヘン アヘン・トコン散 アリルエストレノール アルプラゾラム ウラビジル エストラジオール エチエルエストラジオール・ノルエチステロン エチニルエストラジオール・レボノルゲストレル 塩酸アプリンジン 塩酸アヘンアルカロイド 塩酸アヘンアルカロイド・臭化水素酸スコポラミン 塩酸アヘンアルカロイド・硫酸アトロピン 塩酸アロチノロール 塩酸インプレナリン 塩酸インデノロール 塩酸エチルモルヒネ 塩酸オキシコドン 塩酸カルテオロール 塩酸ゲムシタピン 塩酸サルボグレラート 塩酸セリプロロール 塩酸ソタロール 塩酸チリソロール 塩酸テラゾシン 塩酸デラブリル 塩酸トラゾドン 塩酸ドブタミン 注射用塩酸ビラルピシン 塩酸プロプラノロール 塩酸ベバントロール 塩酸ベチジン 塩酸ベチジン・酒石酸レバロルフアン	鎮痛・鎮痙・鎮静剤 鎮痛・鎮痙・止瀉剤 黄体ホルモン マイナーTRANキライザー 排尿障害改善・降圧剤 経皮吸収エストラジオール製剤 経口避妊剤 経口避妊剤 不整脈治療剤 鎮痛・鎮痙・鎮静剤 鎮痛・鎮静・麻酔補助剤 鎮痛・鎮痙・鎮静剤 α 、 β -遮断剤 β -刺激剤 β -遮断剤 鎮痛・鎮痙剤 がん疼痛治療剤 β -遮断剤 代謝拮抗性抗悪性腫瘍剤 5-HT ₂ ブロッカー β -遮断剤 β -遮断剤 β -遮断剤 α 1-遮断剤 ACE阻害剤 トリアゾピリジン系抗うつ剤 心収縮力増強カテコールアミン アントラサイクリン系抗悪性腫瘍剤 β -遮断剤 Ca拮抗・ α 1-遮断性 β 1-選択的遮断剤 鎮痛・鎮痙合成麻薬 鎮痛・鎮痙剤

塩酸マニジピン	ジヒドロピリジン系Ca拮抗剤
塩酸ミトキサントロン	アントラキノン系抗悪性腫瘍剤
塩酸ミノサイクリン	テトラサイクリン系抗生物質
塩酸モルヒネ	鎮痛・鎮咳・止瀉剤
塩酸モルヒネ・硫酸アトロピン	鎮痙・鎮痛剤
オーラノフィン	RA寛解導入金化合物
オウヒエキス・リン酸コデイン	鎮咳去痰剤
カプトプリル	ACE阻害剤
カベンタピン	抗悪性腫瘍ドキシフルリジンプロドラッグ
カルベジロール	α 、 β -遮断剤
クラドリピン	抗悪性腫瘍剤
結合型エストロゲン	卵巣ホルモン
コハク酸シベンソリン	不整脈治療剤
酢酸クロルマジノン	黄体ホルモン剤
酢酸ナファレリン	Gn-RH誘導体・子宮内膜症治療剤
酢酸フルドロコルチゾン	鉱質副腎皮質ホルモン
酢酸メドロキシプロゲステロン	黄体ホルモン
シスプラチン	抗悪性腫瘍白金錯化合物
芍薬甘草湯	漢方製剤
酒石酸ピノレルピン	ビンカアルカロイド系抗悪性腫瘍剤
酒石酸メトプロロール	β 1-遮断剤
セキコデシロップ	鎮咳去痰剤
テガフル	抗悪性腫瘍剤
テガフル・ウラシル	抗悪性腫瘍剤
テガフル・ギメラシル・オテラシル	抗悪性腫瘍剤
カリウム	
トランドラプリル	ACE阻害剤
ドキシフルリジン	抗悪性腫瘍フルオロウラシルプロドラッグ
ナドロール	β -遮断剤
ナブメトン	フェニル酢酸系消炎鎮痛剤
ニブラジロール	β -遮断剤
ピアベネム	カルバペネム系抗生物質
フェロジピン	ジヒドロピリジン系Ca拮抗剤
フェンブフェン	フェニル酢酸系解熱消炎鎮痛剤
複方オキシコドン注射液	鎮痛・鎮咳剤
複方オキシコドン・アトロピン注射液	鎮痛・鎮痙・鎮咳剤
腹膜透析液	体液用剤
ホリナートカルシウム	抗薬酸代謝拮抗剤
マルコホン-A、-コデイン	鎮咳去痰剤
マレイン酸フルボキサミン	選択的セロトニン再取り込み阻害剤(SSRI)
マロン酸ボビンドロール	β -遮断・プロドラッグ

	メシル酸ベルゴリド 硫酸ビンデシン 硫酸ペンブトロール 硫酸モルヒネ リン酸エストラムスチンナトリウム リン酸コデイン リン酸ジヒドロコデイン	抗パーキンソン剤 抗癌性腫瘍半合成vincaアルカロイド β-遮断剤 持続性がん疼痛治療剤 前立腺がん治療アルキル化剤 麻薬性鎮咳剤 鎮咳・アヘンアルカロイド誘導体
息苦しい	塩酸ミルナシブラン レバミピド	セロトニン・ノルエピネフリン再取り込み阻害剤 (SNRI) 胃炎・胃潰瘍治療剤
咳嗽	アクタリット アザチオプリン アジスロマイシン水和物 アスポキシシリン アムリノン アラセプリル アルプロスタジル アルプロスタジルアルファデクス アロプリノール アンギオテンシンII (ヒト型) アンピシリンナトリウム・スルバクタムナトリウム イオキサグル酸 イオメブロール イセチオン酸ベンタミジン イソニアジド イソニアジドメタンサルホン酸ナトリウム イミペネム・シラスタチンナトリウム インターフェロンアルファ インターフェロンアルファ-2b (遺伝子組換え) インターフェロンアルファ-2a (遺伝子組換え) インターフェロンアルファコン-1 (遺伝子組換え) インターフェロンガンマ-1a (遺伝子組換え) インターフェロンガンマ-n1 インターフェロンベータ インフリキシマブ (遺伝子組換え) ウルソデオキシコール酸 エクストラニール エチゾラム	疾患修飾性抗リウマチ薬 (DMARD) 免疫抑制剤 15員環マクロライド系抗生物質 合成ペニシリン 急性心不全治療・ホスホジエステラーゼIII阻害剤 ACE阻害剤 プロスタグランジンE1誘導体 プロスタグランジンE1誘導体 キサンチンオキシダーゼ阻害剤・高尿酸血症治療剤 がん昇圧化学療法用 β-ラクタマーゼ阻害剤配合抗生物質 尿路・血管造影剤 非イオン性造影剤 カリニ肺炎治療剤 結核化学療法剤 結核化学療法剤 カルバペネム系抗生物質 天然型インターフェロン 遺伝子組換え型インターフェロン 遺伝子組換え型インターフェロン 遺伝子組換え型インターフェロン 遺伝子組換え型インターフェロン 天然型インターフェロン-γ製剤 天然型インターフェロン 抗ヒトTNFαモノクローナル抗体製剤 肝・胆・消化機能改善剤 腹膜透析液 チエノジアゼピン系精神安定剤

エトドラク	インドール酢酸系消炎鎮痛剤
エトボシド	抗悪性腫瘍剤
エノキサシン	ニューキノロン系抗菌剤
LLシロップ	感冒剤
塩酸アセプトロール	β 1-遮断剤
塩酸アプリンジン	不整脈治療剤
塩酸アロチノロール	α 、 β -遮断剤
塩酸イミダプリル	ACE阻害剤
塩酸イミブラミン	抗うつ剤・遺尿症治療剤
塩酸クロミブラミン	うつ病・遺尿症治療剤
塩酸ゲムシタビン	代謝拮抗性抗悪性腫瘍剤
塩酸セフェビム	セフェム系抗生物質
塩酸セフォゾプラン	セフェム系抗生物質
塩酸セフォチアム	セフェム系抗生物質
塩酸セフォチアムヘキセチル	セフェム系抗生物質
塩酸セフカベンピボキシル	セフェム系抗生物質
塩酸セフメノキシム	セフェム系抗生物質
塩酸テモカプリル	ACE阻害剤
塩酸トリエンチン	ベニシラミン不耐性ウィルソン病治療剤
塩酸ドキサプラム	呼吸促進剤
注射用塩酸ピラルピシン	アントラサイクリン系抗悪性腫瘍剤
塩酸ブラノロール	β -遮断剤
塩酸ブレオマイシン	抗腫瘍性抗生物質
塩酸ブロムヘキシソ	気道粘液溶解剤
塩酸プロメタジン	フェノチアジン系抗ヒスタミン・抗パーキンソン剤
塩酸ベナゼプリル	ACE阻害剤
塩酸ベニジピン	ジヒドロピリジン系Ca拮抗剤
塩酸マプロチリン	四環系抗うつ剤
塩酸ミトキサントロン	アントラキノ系抗悪性腫瘍剤
塩酸ミノサイクリン	テトラサイクリン系抗生物質
塩酸リトドリン	切迫流・早産治療 β 2-刺激剤
塩酸リンコマイシン	リンコマイシン系抗生物質
塩酸ロメフロキサシン	ニューキノロン系抗菌剤
オーラノフィン	RA寛解導入金化合物
黄連解毒湯	漢方製剤
乙字湯	漢方製剤
オフロキサシン	ニューキノロン系抗菌剤
オメブラゾール	プロトンポンプインヒビター
カプトプリル	ACE阻害剤
カベルゴリン	抗パーキンソン剤
カベシタビン	抗悪性腫瘍ドキシフルリジンプロドラッグ

カルバマゼピン	向精神作用性てんかん・躁状態治療剤
カルベジロール	α 、 β -遮断剤
カルボプラチン	抗悪性腫瘍白金錯化合物
カルモフェール	代謝拮抗性抗悪性腫瘍剤
乾燥イオン交換樹脂処理人免疫グロブリン	血液成分製剤
乾燥BCG	結核予防ワクチン・抗悪性腫瘍剤
カンデサルタンシレキセチル	アンギオテンシン-I受容体拮抗剤
ガドジアミド水和物	MR I用造影剤
ガドテリドール	MR I用造影剤
ガドテル酸メグルミン	MR I用造影剤
ガドベンテト酸メグルミン	MR I用造影剤
クラドリビン	抗悪性腫瘍剤
クラリスロマイシン	マクロライド系抗生物質
クリンダマイシン	リンコマイシン系抗生物質
クロモグリク酸ナトリウム	アレルギー性疾患治療剤
抗ヒト胸腺細胞ウマ免疫グロブリン	免疫抑制剤
柴胡加竜骨牡蛎湯	漢方製剤
柴胡桂枝乾姜湯	漢方製剤
柴胡桂枝湯	漢方製剤
柴朴湯	漢方製剤
柴苓湯	漢方製剤
サラゾスルファピリジン	潰瘍性大腸炎治療・抗リウマチ剤
ザフィルルカスト	ロイコトリエン受容体拮抗・気管支喘息治療剤
シスプラチン	抗悪性腫瘍白金錯化合物
シタラビンオクホスファート	代謝拮抗性悪性腫瘍剤・シタラビンプロドラッグ
シプロフロキサシン	ニューキノロン系抗菌剤
臭化オキシトロピウム	抗コリン性気管支収縮抑制剤
酒石酸アンチモンナトリウム	アンチモン吸虫駆除剤
小柴胡湯	漢方製剤
シロスタゾール	抗血小板剤
辛夷清肺湯	漢方製剤
ジノスタチンステマラマー	ネオカルチノスタチン誘導体抗がん剤
ジモルホラミン	呼吸循環賦活剤
スバルフロキサシン	ニューキノロン系抗菌剤
スルファジメトキシシン	持続性サルファ剤
スルファドキシシン・ピリメタミン	抗マラリア剤
スルファメトキサゾール	持続性サルファ剤
スルファメトキサゾール・トリメトプリム	合成抗菌剤
スルファモノメトキシシン	持続性サルファ剤
清心蓮子飲	漢方製剤

清肺湯	漢方製剤
セファクロル	セフェム系抗生物質
セファゾリンナトリウム	セファロスポリン系抗生物質
セファトリジンプロピレングリコール	セファロスポリン系抗生物質
セファドロキシル	セフェム系抗生物質
セファレキシン	セファロスポリン系抗生物質
セファロチンナトリウム	セファロスポリン系抗生物質
セフィキシム	セフェム系抗生物質
セフォジジムナトリウム	セフェム系抗生物質
セフォタキシムナトリウム	セフェム系抗生物質
セフォテタン	セファマイシン系抗生物質
セフォペラゾンナトリウム	セフェム系抗生物質
セフォペラゾンナトリウム・スルバクタムナトリウム	β -ラクタマーゼ阻害剤配合抗生物質
セフジトレンピボキシル	セフェム系抗生物質
セフジニル	セフェム系抗生物質
セフスロジンナトリウム	緑膿菌用セフェム系抗生物質
セフタジジム	セファロスポリン系抗生物質
セフチゾキシムナトリウム	セファロスポリン系抗生物質
セフチブテン	セフェム系抗生物質
セフテゾールナトリウム	セファロスポリン系抗生物質
セフテラムピボキシル	セフェム系抗生物質
セフトリアキソンナトリウム	セフェム系抗生物質
セフピラミドナトリウム	セファロスポリン系抗生物質
セフブペラゾンナトリウム	セファマイシン系抗生物質
セフボドキシムプロキセチル	セフェム系抗生物質
セフミノタスナトリウム	セファマイシン系抗生物質
セフメタゾールナトリウム	セファマイシン系抗生物質
セフロキサジン	セフェム系抗生物質
セフロキシムアキセチル	セファロスポリン系抗生物質
セラペプターゼ	消炎酵素剤
セルモロイキン (遺伝子組換え)	インターロイキン-2剤
タゾバクタムナトリウム・ピペラシリンナトリウム	β -ラクタマーゼ阻害剤配合抗生物質
大柴胡湯	漢方製剤
ダントロレンナトリウム	末梢性筋弛緩・悪性症候群治療剤
チアマゾール	抗甲状腺剤
チオペンタールナトリウム	バルビツール酸系全身麻酔剤
テガフル	抗悪性腫瘍剤
テガフル・ウラシル	抗悪性腫瘍剤
テガフル・ギメラシル・オテラシルカリウム	抗悪性腫瘍剤

テルグリド
 デヒドロコール酸
 トシル酸トスプロキサシン
 トランドラプリル
 ドキシフルリジン
 ドセタキセル水和物
 ナドロール
 ナブメトン
 ナプロキセン
 ナルトグラスチム (遺伝子組換え)
 ニコチン酸
 ニフェジピン
 ニルバジピン
 ネダプラチン
 ノルフロキサシン
 半夏瀉心湯
 麦門冬湯
 バシリキシマブ (遺伝子組換え)
 バルサルタン
 バニベネム・ベタミブロン
 ヒスタミン加人免疫グロブリン
 ヒドロキシカルバミド
 ビベンズ酸チベピジン
 ビアベネム
 PL顆粒
 ビシパニール
 ビペラシリンナトリウム
 ファモチジン
 ファロベネムナトリウム
 フィルグラスチム (遺伝子組換え)
 フェロジピン
 フェンブフェン
 フドステイン
 フルオロウラシル
 フルコナゾール
 フルタミド
 フレロキサシン
 フロモキシセフナトリウム
 ブシラミン
 ブスルファン
 ブデソニド

選択的ドパミン作動薬
 利胆剤
 ニューキノロン系抗菌剤
 ACE阻害剤
 抗悪性腫瘍フルオロウラシルプロドラッグ
 タキソイド系抗悪性腫瘍剤
 B-遮断剤
 フェニル酢酸系消炎鎮痛剤
 プロピオン酸系消炎鎮痛剤
 遺伝子組換えヒトG-CSF誘導体
 抗ペラグラ因子ビタミン
 ジヒドロピリジン系Ca拮抗剤
 ジヒドロピリジン系Ca拮抗剤
 抗悪性腫瘍白金錯化合物
 ニューキノロン系抗菌剤
 漢方製剤
 漢方製剤
 抗CD25モノクローナル抗体急性拒絶反応抑制剤
 選択的AT1受容体遮断剤
 カルバペネム系抗生物質
 血液成分製剤
 抗悪性腫瘍剤
 中枢性鎮咳剤
 カルバペネム系抗生物質
 総合感冒剤
 宿主機能賦活性、抗悪性腫瘍溶連菌製剤
 合成ペニシリン
 H2-受容体拮抗剤
 ペネム系抗生物質
 G-CSF製剤
 ジヒドロピリジン系Ca拮抗剤
 フェニル酢酸系解熱消炎鎮痛剤
 気道分泌細胞正常化剤
 抗悪性腫瘍代謝拮抗剤
 トリアゾール系抗真菌剤
 非ステロイド性抗アンドロゲン剤
 ニューキノロン系抗菌剤
 オキサセフェム系抗生物質
 抗リウマチ剤
 アルキル化剤
 ドライパウダー吸入式ステロイド剤

プラシカル水合物	ロイコトリエン受容体拮抗剤
ブルリフロキサシン	ニューキノロン系抗菌剤
プロピルチオウラシル	抗甲状腺剤
プロポフォール	全身麻酔剤
ベラプロストナトリウム	プロスタサイクリン (PGI ₂) 誘導体
ベグインターフェロンアルファ-2 a (遺伝子組換え)	遺伝子組換え型インターフェロン
ベニシラミン	リウマチ・ウイルス病治療・金属解毒剤
ベリンドプリルエルブミン	ACE阻害剤
ベレックス, -1/6	感冒剤
ベントスタチン	抗悪性腫瘍剤
ホスフルコナゾール	フルコナゾールプロドラッグ
ホスホマイシン	抗生物質
ホバンテン酸カルシウム	脳循環代謝改善剤
ホリナートカルシウム	抗薬酸代謝拮抗剤
ポリエチレングリコール処理入免疫グロブリン	血液成分製剤
ポルフィマーナトリウム	光線力学的療法用光感受性物質
マイトマイシンC	抗腫瘍性抗生物質
マレイン酸エナラプリル	ACE阻害剤
ミゾリピン	核酸合成阻害イミダゾール系免疫抑制剤
ムロモナブ-CD3	急性拒絶反応治療モノクローナル抗体
メシル酸イマチニブ	抗悪性腫瘍剤 (チロシンキナーゼインヒビター)
メシル酸デラビルジン	抗ウイルス・HIV逆転写酵素阻害剤
メシル酸バズフロキサシン	ニューキノロン系抗菌剤
メシル酸ベルゴリド	抗パーキンソン剤
メトトレキサート	葉酸代謝拮抗剤・抗リウマチ剤
メロキシカム	非ステロイド性消炎鎮痛剤
メロベネム三水合物	カルバペネム系抗生物質
ラタモキシフナトリウム	オキサセフェム系抗生物質
ラベプラゾールナトリウム	プロトンポンプインヒビター
ランソプラゾール	プロトンポンプインヒビター
ランソプラゾール・アモキシシリン・ クラリスロマイシン	ヘリコバクター・ピロリ除菌用組み合わせ製剤
リシノプリル	ACE阻害剤
リネゾリド	オキサゾリジノン系合成抗菌剤
リバビリン	抗ウイルス剤
硫酸ストレプトマイシン	アミノグリコシド系抗生物質
硫酸セフォセリス	セフェム系抗生物質
硫酸セフピロム	セフェム系抗生物質
硫酸ブレオマイシン	抗腫瘍性抗生物質
硫酸ペプロマイシン	抗腫瘍性抗生物質

	リルゾール リン酸オセルタミビル レノグラステム (遺伝子組換え) レフルノミド レボフロキサシン レボホリナートカルシウム ロキシスロマイシン ロキソプロフェンナトリウム ロサルタンカリウム	筋萎縮性側索硬化症用剤 抗インフルエンザウイルス剤 G-CSF製剤 抗リウマチ剤 ニューキノロン系抗菌剤 活性型葉酸製剤 酸安定性マクロライド系抗生物質 プロピオン酸系消炎鎮痛剤 アンギオテンシン-I I 受容体拮抗剤
喀痰増加	アラセプリル インターフェロンアルファ-2b (遺伝子組換え) インフリキシマブ (遺伝子組換え) クロナゼパム クロバザム テルミサルタン バシリキシマブ (遺伝子組換え) ミコフェノール酸モフェチル リバビリン	ACE阻害剤 遺伝子組換え型インターフェロン 抗ヒトTNF α モノクローナル抗体製剤 ベンゾジアゼピン系抗てんかん剤 ベンゾジアゼピン系抗てんかん剤 持続性AT1受容体遮断剤 抗CD25モノクローナル抗体急性拒絶反応抑制剤 免疫抑制剤 抗ウイルス剤
過呼吸	アスピリン アスピリン・アスコルビン酸 アスピリン・ダイアルミネート イソフルラン インターフェロンアルファ-2b (遺伝子組換え) エテンザミド LIシロップ 塩化スキサメトニウム 塩酸ケタミン 塩酸プロホルミン 塩酸メトホルミン 塩酸リドカイン・エピネフリン 塩酸リドカイン・酒石酸水素エピネフリン エンフルラン キョウニン水 サリチルアミド セボフルラン D-ソルビトール・D-マンニトール D-ソルビトール ネオピタカイン ハロタン	サリチル酸系解熱鎮痛・抗血小板剤 解熱鎮痛剤 解熱鎮痛・抗血小板剤 ハロゲン系吸入麻酔剤 遺伝子組換え型インターフェロン サリチル酸アミド系解熱鎮痛剤 感冒剤 脱分極性筋弛緩剤 全身麻酔剤 ビグアナイド系血糖降下剤 ビグアナイド系血糖降下剤 局所麻酔剤 局所麻酔剤 ハロゲン系吸入麻酔剤 鎮咳去痰剤 サリチル酸系解熱鎮痛剤 吸入麻酔剤 泌尿器科灌洗洗浄剤 糖漿剤 神経痛治療剤 ハロゲン系吸入麻酔剤

	PL顆粒 プロポフォール ベレックス, -1/6 リドカイン, - (塩酸)	総合感冒剤 全身麻酔剤 感冒剤 アニリド系局所麻酔・不整脈治療剤
喀血	イソニアジド イソニアジドメタンスルホン酸ナトリウム 塩酸L-エチルシステイン サキナビル ザルシタピン ベニシラミン ポルフィマーナトリウム ミコフェノール酸モフェチル	結核化学療法剤 結核化学療法剤 活性SH基含有去痰剤 抗ウイルス・HIVプロテアーゼ阻害剤 抗ウイルス・HIV逆転写酵素阻害剤 リウマチ・ウイルソン病治療・金属解毒剤 光線力学的療法用光感受性物質 免疫抑制剤
関節性肺炎	アクタリット アザチオプリン アシクロビル アジスロマイシン水和物 アスポキシリン アルプロスタジル アルプロスタジルアルファデクス アルミノプロフェン アロプリノール アンピシリンナトリウム・スルバクタムナトリウム イオキサグル酸 イソニアジド イソニアジドメタンスルホン酸ナトリウム イノシンプラノベクス イホスファミド イミベネム・シラスタチンナトリウム インターフェロンアルファ インターフェロンアルファ-2b (遺伝子組換え) インターフェロンアルファ-2a (遺伝子組換え) インターフェロンアルファコン-1 (遺伝子組換え) インターフェロンガンマ-1a (遺伝子組換え) インターフェロンガンマ-n1 インターフェロンベータ インターフェロンベータ-1b (遺伝子組換え) ウルソデオキシコール酸	疾患修飾性抗リウマチ薬 (DMARD) 免疫抑制剤 抗ウイルス剤 15員環マクロライド系抗生物質 合成ペニシリン プロスタグランジンE1誘導体 プロスタグランジンE1誘導体 フェニルプロピオン酸系消炎鎮痛剤 キサンチンオキシダーゼ阻害剤・高尿酸血症治療剤 β -ラクタマーゼ阻害剤配合抗生物質 尿路・血管造影剤 結核化学療法剤 結核化学療法剤 免疫賦活剤 抗悪性腫瘍剤 カルバベネム系抗生物質 天然型インターフェロン 遺伝子組換え型インターフェロン 遺伝子組換え型インターフェロン 遺伝子組換え型インターフェロン 天然型インターフェロン- γ 製剤 天然型インターフェロン 遺伝子組換え型インターフェロン 肝・胆・消化機能改善剤

エンドライ	降圧剤
エチゾラム	チエノジアゼピン系精神安定剤
エトイン	ヒダントイン系抗てんかん剤
エトドラク	インドール酢酸系消炎鎮痛剤
エトボシド	抗悪性腫瘍剤
エノキサシン	ニューキノロン系抗菌剤
LSシロップ	感冒剤
塩酸アセプトロール	β 1-遮断剤
塩酸アブリンジン	不整脈治療剤
塩酸アミオダロン	不整脈治療剤
塩酸アムルピシン	抗腫瘍性抗生物質
塩酸イミプラミン	抗うつ剤・遺尿症治療剤
塩酸イリノテカン	I型DNAトポイソメラーゼ阻害型抗悪性腫瘍剤
塩酸クロミプラミン	うつ病・遺尿症治療剤
塩酸ゲムシタピン	代謝拮抗性抗悪性腫瘍剤
塩酸セビメリン水和物	口腔乾燥症状改善薬
塩酸セフェピム	セフェム系抗生物質
塩酸セフェゾラン	セフェム系抗生物質
塩酸セフォチアム	セフェム系抗生物質
塩酸セフォチアムヘキセテル	セフェム系抗生物質
塩酸セフカベンピボキシル	セフェム系抗生物質
塩酸セフメノキシム	セフェム系抗生物質
塩酸チクロピジン	抗血小板剤
塩酸トリエンチン	ベニシラミン不耐性ウィルソン病治療剤
塩酸ニムスチン	ニトロソ尿素系抗悪性腫瘍剤
塩酸ノギテカン	I型DNAトポイソメラーゼ阻害型抗悪性腫瘍剤
塩酸バラシクロビル	抗ウイルス剤
注射用塩酸ビラルピシン	アントラサイクリン系抗悪性腫瘍剤
塩酸ブレオマイシン	抗腫瘍性抗生物質
塩酸プロカルバジン	抗悪性リンパ腫剤
塩酸マプロチリン	四環系抗うつ剤
塩酸ミトキサントロン	アントラキノロン系抗悪性腫瘍剤
塩酸ミノサイクリン	テトラサイクリン系抗生物質
塩酸メキシレチン	不整脈治療・糖尿病性神経障害治療剤
塩酸リンコマイシン	リンコマイシン系抗生物質
塩酸ロメフロキサシン	ニューキノロン系抗菌剤
オーラノフィン	RA寛解導入金化合物
黄連解毒湯	漢方製剤
乙字湯	漢方製剤
オフロキサシン	ニューキノロン系抗菌剤
オメプラゾール	プロトンポンプインヒビター

カベルゴリン	抗パーキンソン剤
カベシタピン	抗悪性腫瘍ドキシフルリジンプロドラッグ
カルバマゼピン	向精神作用性てんかん・躁状態治療剤
カルボコン	抗悪性腫瘍アルキル化剤
カルボプラチン	抗悪性腫瘍白金錯化合物
カルモフル	代謝拮抗性抗悪性腫瘍剤
乾燥BCG	結核予防ワクチン・抗悪性腫瘍剤
カンデサルタンシレキセチル	アンギオテンシン-I I 受容体拮抗剤
ガチフロキサシン水和物	ニューキノロン系抗菌剤
金チオリンゴ酸ナトリウム	水溶性金製剤
クエン酸タモキシフェン	抗エストロゲン剤
クラドリピン	抗悪性腫瘍剤
クラリスロマイシン	マクロライド系抗生物質
クリンダマイシン	リンコマイシン系抗生物質
ゲフィチニブ	抗悪性腫瘍・上皮成長因子受容体チロシンキナーゼ阻害剤
抗ヒト胸腺細胞ウマ免疫グロブリン	免疫抑制剤
柴胡加竜骨牡蠣湯	漢方製剤
柴胡桂枝乾姜湯	漢方製剤
柴胡桂枝湯	漢方製剤
柴朴湯	漢方製剤
柴苓湯	漢方製剤
酢酸ゴセレリン	Gn-RH・LH-RHアゴニスト
酢酸リユープロレリン	LH-RH誘導体
サラソスルファピリジン	潰瘍性大腸炎治療・抗リウマチ剤
シクロホスファミド	ナイトロジェンマスタード系抗悪性腫瘍剤
シスプラチン	抗悪性腫瘍白金錯化合物
シタラビン	代謝拮抗性抗悪性腫瘍剤
シタラビンオクホスファート	代謝拮抗性悪性腫瘍剤・シタラビンプロドラッグ
シプロフロキサシン	ニューキノロン系抗菌剤
酒石酸ビノレルピン	ビンカアルカロイド系抗悪性腫瘍剤
小柴胡湯	漢方製剤
シロスタゾール	抗血小板剤
辛夷清肺湯	漢方製剤
ジクロフェナクナトリウム	フェニル酢酸系消炎鎮痛剤
ジノスタチンスチマラマー	ネオカルチノスタチン誘導体抗がん剤
スバルフロキサシン	ニューキノロン系抗菌剤
スルファメトキサゾール・トリメトプリム	合成抗菌剤
清心蓮子飲	漢方製剤
清肺湯	漢方製剤
セファクロル	セフェム系抗生物質

セファゾリンナトリウム	セファロスポリン系抗生物質
セファトリジンプロピレングリコール	セファロスポリン系抗生物質
セファドロキシル	セフェム系抗生物質
セファレキシム	セファロスポリン系抗生物質
セファロチンナトリウム	セファロスポリン系抗生物質
セフィキシム	セフェム系抗生物質
セフォジジムナトリウム	セフェム系抗生物質
セフォタキシムナトリウム	セフェム系抗生物質
セフォテタン	セファマイシン系抗生物質
セフォベラゾンナトリウム	セフェム系抗生物質
セフォベラゾンナトリウム・スルバクタムナトリウム	β -ラクタマーゼ阻害剤配合抗生物質
セフジトレンピボキシル	セフェム系抗生物質
セフジニル	セフェム系抗生物質
セフスロジンナトリウム	緑膿菌用セフェム系抗生物質
セフタジジム	セファロスポリン系抗生物質
セフチゾキシムナトリウム	セファロスポリン系抗生物質
セフチブテン	セフェム系抗生物質
セフテゾールナトリウム	セファロスポリン系抗生物質
セフテラムピボキシル	セフェム系抗生物質
セフトリアキソンナトリウム	セフェム系抗生物質
セフピラミドナトリウム	セファロスポリン系抗生物質
セフペラゾンナトリウム	セファマイシン系抗生物質
セフポドキシムプロキセチル	セフェム系抗生物質
セフミノクスナトリウム	セファマイシン系抗生物質
セフメタゾールナトリウム	セファマイシン系抗生物質
セフロキサジン	セフェム系抗生物質
セフロキシムアキセチル	セファロスポリン系抗生物質
セラベプターゼ	消炎酵素剤
セルモロイキン（遺伝子組換え）	インターロイキン-2剤
ソブゾキサム	抗悪性腫瘍・ビスジオキソピペラジン誘導体
ソニサミド	ベンズイソキサゾール系抗てんかん剤
タゾバクタムナトリウム・ピペラシリンナトリウム	β -ラクタマーゼ阻害剤配合抗生物質
大柴胡湯	漢方製剤
ダナゾール	エチステロン誘導体
チアマゾール	抗甲状腺剤
チオプロニン	代謝改善解毒剤・シスチン尿症治療剤
テガフル	抗悪性腫瘍剤
テガフル・ウラシル	抗悪性腫瘍剤
テガフル・ギメラシル・オテラシルカリウム	抗悪性腫瘍剤

トシル酸トスフロキサシン	ニューキノロン系抗菌剤
トラスツズマブ (遺伝子組換え)	抗HER2ヒト化モノクローナル抗体抗悪性腫瘍剤
トリクロルメチアジド	チアジド系降圧利尿剤
トレチノイン	ビタミンA活性代謝物・APL治療剤
ドキシフルリジン	抗悪性腫瘍フルオロウラシルプロドラッグ
ドセタキセル水和物	タキソイド系抗悪性腫瘍剤
ナブメトン	フェニル酢酸系消炎鎮痛剤
ナルトグラスチム (遺伝子組換え)	遺伝子組換えヒトG-CSF誘導体
ネダプラチン	抗悪性腫瘍白金錯化合物
ノルフロキサシン	ニューキノロン系抗菌剤
半夏瀉心湯	漢方製剤
麦門冬湯	漢方製剤
バルサルタン	選択的AT1受容体遮断剤
バクリタキセル	抗悪性腫瘍剤
バニベネム・ベタミブロン	カルバベネム系抗生物質
ヒドロキシカルバミド	抗悪性腫瘍剤
ヒドロクロロチアジド	チアジド系降圧利尿剤
ビアベネム	カルバベネム系抗生物質
ビカルタミド	前立腺がん治療剤
PL顆粒	総合感冒剤
ビシバニール	宿主機能賦活性、抗悪性腫瘍増殖連菌製剤
ビベラシリンナトリウム	合成ペニシリン
ファモチジン	H ₂ -受容体拮抗剤
ファロベネムナトリウム	ベネム系抗生物質
フィルグラスチム (遺伝子組換え)	G-CSF製剤
フェニトイン、-ナトリウム	ヒダントイン系抗てんかん剤
フェニトイン・フェノバルビタール	抗てんかん剤
フェニトイン・フェノバルビタール・ 安息香酸ナトリウムカフェイン	抗てんかん剤
フェンブフェン	フェニル酢酸系解熱消炎鎮痛剤
フルオロウラシル	抗悪性腫瘍代謝拮抗剤
フルコナゾール	トリアゾール系抗真菌剤
フルタミド	非ステロイド性抗アンドロゲン剤
フレロキサシン	ニューキノロン系抗菌剤
フロモキシセフナトリウム	オキサセフェム系抗生物質
ブシラミン	抗リウマチ剤
ブスルファン	アルキル化剤
ブランルカスト水和物	ロイコトリエン受容体拮抗剤
ブルリフロキサシン	ニューキノロン系抗菌剤
プロピルチオウラシル	抗甲状腺剤
ベハイドRA錠	血圧降下剤

ペラプロストナトリウム	プロスタサイクリン (PGI ₂) 誘導体
ベンチルヒドロクロロチアジド	チアジド系降圧利尿剤
ベグインターフェロンアルファ-2 a (遺伝子組換え)	遺伝子組換え型インターフェロン
ベニシラミン	リウマチ・ウイルソン病治療・金属解毒剤
ベレックス, -I/6	感冒剤
ホスフルコナゾール	フルコナゾールプロドラッグ
ホリナートカルシウム	抗薬酸代謝拮抗剤
マイトマイシンC	抗腫瘍性抗生物質
マレイン酸エナラプリル	ACE阻害剤
ミゾリピン	核酸合成阻害イミダゾール系免疫抑制剤
メサラジン	潰瘍性大腸炎・クローン病治療剤
メシル酸イマチニブ	抗悪性腫瘍剤 (チロシンキナーゼインヒビター)
メシル酸バズフロキサシン	ニューキノロン系抗菌剤
メシル酸ベルゴリド	抗パーキンソン剤
メチ克蘭	非チアジド系降圧剤
メトトレキサート	薬酸代謝拮抗剤・抗リウマチ剤
メフルシド	非チアジド系降圧利尿剤
メルファラン	造血幹細胞移植前処置・抗多発性骨髄腫アルキル化剤
メロペネム三水和物	カルバペネム系抗生物質
ラタモキシフナトリウム	オキサセフェム系抗生物質
ラニムスチン	抗悪性腫瘍ニトロソ尿素系アルキル化剤
ラベプラゾールナトリウム	プロトンポンプインヒビター
ランソプラゾール	プロトンポンプインヒビター
ランソプラゾール・アモキシシリン・ クラリスロマイシン	ヘリコバクター・ピロリ除菌用組み合わせ製剤
リツキシマブ (遺伝子組換え)	抗CD20モノクローナル抗体抗悪性腫瘍剤
リバビリן	抗ウイルス剤
リファンピシン	抗結核・抗ハンセン病抗生物質
硫酸ストレプトマイシン	アミノグリコシド系抗生物質
硫酸セフォセリス	セフェム系抗生物質
硫酸セフピロム	セフェム系抗生物質
硫酸ビンクリスチン	抗悪性腫瘍vincaアルカロイド
硫酸ビンデシン	抗悪性腫瘍半合成vincaアルカロイド
硫酸ビンブラスチン	抗悪性腫瘍vincaアルカロイド
硫酸ブレオマイシン	抗腫瘍性抗生物質
硫酸ペプロマイシン	抗腫瘍性抗生物質
リルゾール	筋萎縮性側索硬化症用剤
リン酸フルダラビン	抗悪性腫瘍剤
レノグラスチム (遺伝子組換え)	G-CSF製剤
レフルノミド	抗リウマチ剤
レボフロキサシン	ニューキノロン系抗菌剤

	レボホリナートカルシウム ロキシスロマイシン ロキソプロフェンナトリウム	活性型葉酸製剤 酸安定性マクロライド系抗生物質 プロピオン酸系消炎鎮痛剤
気管支炎	アスピリン アスピリン・ダイアルミネート アルブラソラム インフリキシマブ (遺伝子組換え) 塩酸イリノテカン 塩酸クレンプテロール オーラノフィン 金チオリンゴ酸ナトリウム クロルジアゼポキシド サキナビル サニルブジン ジアセバム ジドブジン・ラミブジン バリビズマブ (遺伝子組換え) ベニシラミン ミコフェノール酸モフェチル メシル酸デラビルジン ヨウ化カリウム ラミブジン リツキシマブ (遺伝子組換え) リネゾリド リン酸オセルタミビル レフルノミド ロピナビル・リトナビル ロラゼパム	サリチル酸系解熱鎮痛・抗血小板剤 解熱鎮痛・抗血小板剤 マイナートランキライザー 抗ヒトTNF α モノクローナル抗体製剤 I型DNAトポイソメラーゼ阻害型抗悪性腫瘍剤 気管支拡張 β 2-刺激・腹圧性尿失禁治療剤 RA寛解導入金化合物 水溶性金製剤 マイナートランキライザー 抗ウイルス・HIVプロテアーゼ阻害剤 抗ウイルス・HIV逆転写酵素阻害剤 マイナートランキライザー 抗ウイルス化学療法剤 抗RSウイルスヒト化モノクローナル抗体 リウマチ・ウイルソン病治療・金属解毒剤 免疫抑制剤 抗ウイルス・HIV逆転写酵素阻害剤 ヨウ素剤 抗ウイルス・HIV逆転写酵素阻害剤 抗CD20モノクローナル抗体抗悪性腫瘍剤 オキサゾリジノン系合成抗菌剤 抗インフルエンザウイルス剤 抗リウマチ剤 抗ウイルス化学療法剤 マイナートランキライザー
気管支痙攣	アスポキシシリン アセチルシステイン アテノロール アヘン アヘン・トコン散 アムホテリシンB イオキサグル酸 イオキシラン イセチオン酸ペンタミジン イソフルラン イミベネム・シラスタチンナトリウム インスリングルルギン (遺伝子組換え)	合成ペニシリン 気道粘液溶解剤・アセトアミノフェン中毒解毒剤 β 1-遮断剤 鎮痛・鎮痙・鎮静剤 鎮痛・鎮痙・止瀉剤 ポリエチレンマクロライド系真菌症治療剤 尿路・血管造影剤 非イオン性X線造影剤 カリニ肺炎治療剤 ハロゲン系吸入麻酔剤 カルバペネム系抗生物質 膵臓ホルモン

インターフェロンアルファ-2b (遺伝子組換え)	遺伝子組換え型インターフェロン
インターフェロンベータ-1b (遺伝子組換え)	遺伝子組換え型インターフェロン
インフリキシマブ (遺伝子組換え)	抗ヒトTNF α モノクローナル抗体製剤
塩化スキサメトニウム	脱分極性筋弛緩剤
塩酸アヘンアルカロイド	鎮痛・鎮痙・鎮静剤
塩酸アヘンアルカロイド・臭化水素酸スコポラミン	鎮痛・鎮静・麻酔補助剤
塩酸アヘンアルカロイド・硫酸アトロピン	鎮痛・鎮痙・鎮静剤
塩酸アロチノロール	α 、 β -遮断剤
塩酸エスモロール	短時間作用型 β 1-遮断剤
塩酸オキシコドン	がん疼痛治療剤
塩酸オタスプレノロール	β -遮断剤
塩酸 Gum シタピン	代謝拮抗性抗悪性腫瘍剤
塩酸ブロムヘキシン	気道粘液溶解剤
塩酸プロプラノロール	β -遮断剤
塩酸ベチジン	鎮痛・鎮痙合成麻薬
塩酸ベチジン・酒石酸レバロルフアン	鎮痛・鎮痙剤
塩酸マプロチリン	四環系抗うつ剤
塩酸モルヒネ	鎮痛・鎮咳・止瀉剤
塩酸モルヒネ・硫酸アトロピン	鎮痙・鎮痛剤
塩酸レボブノロール	緑内障・高眼圧症治療剤
オウヒエキス・リン酸コデイン	鎮咳去痰剤
オメプラゾール	プロトンポンプインヒビター
クロモグリク酸ナトリウム	アレルギー性疾患治療剤
酢酸オクトレオチド	持続性ソマトスタチンアナログ
臭化イプラトロピウム	抗コリン性気管支収縮予防
臭化バンクロニウム	非脱分極性麻酔用筋弛緩剤
臭化ベクロニウム	非脱分極性麻酔用筋弛緩剤
酒石酸ピノレルビン	ビンカアルカロイド系抗悪性腫瘍剤
ジビリダモール	冠循環増強・抗血小板剤
セキコデシロップ	鎮咳去痰剤
セフトジジム	セファロスポリン系抗生物質
セボフルラン	吸入麻酔剤
チアミラールナトリウム	バルビツール酸系全身麻酔剤
チオペンタールナトリウム	バルビツール酸系全身麻酔剤
テイコプラニン	グリコペプチド系抗生物質
トラスツズマブ (遺伝子組換え)	抗HER2ヒト化モノクローナル抗体抗悪性腫瘍剤
ドセタキセル水和物	タキソイド系抗悪性腫瘍剤
ニザチジン	H2-受容体拮抗剤
ネオスチグミン	副交感神経興奮・抗コリンエステラーゼ剤

	<p>パシリキシマブ (遺伝子組換え)</p> <p>フェルモキシダス</p> <p>複方オキシコドン注射液</p> <p>複方オキシコドン・アトロピン注射液</p> <p>フマル酸ビソプロロール</p> <p>ブデソニド</p> <p>プロポフォール</p> <p>マルコホン-A₁-コデイン</p> <p>マレイン酸チモロール</p> <p>メシル酸トキサソシン</p> <p>リツキシマブ (遺伝子組換え)</p> <p>リバビリン</p> <p>硫酸ビクリスチン</p> <p>硫酸ビンデシン</p> <p>硫酸ビンブラスチン</p> <p>硫酸モルヒネ</p> <p>リン酸コデイン</p> <p>リン酸ジヒドロコデイン</p>	<p>抗CD25モノクローナル抗体急性拒絶反応抑制剤</p> <p>MRI用造影剤</p> <p>鎮痛・鎮咳剤</p> <p>鎮痛・鎮痙・鎮咳剤</p> <p>選択的β₁-アンタゴニスト</p> <p>ドライパウダー吸入式ステロイド剤</p> <p>全身麻酔剤</p> <p>鎮咳去痰剤</p> <p>β₂-遮断剤</p> <p>α₁-遮断剤</p> <p>抗CD20モノクローナル抗体抗悪性腫瘍剤</p> <p>抗ウイルス剤</p> <p>抗悪性腫瘍vincaアルカロイド</p> <p>抗悪性腫瘍半合成vincaアルカロイド</p> <p>抗悪性腫瘍vincaアルカロイド</p> <p>持続性がん疼痛治療剤</p> <p>麻薬性鎮咳剤</p> <p>鎮咳・アヘンアルカロイド誘導体</p>
気胸	<p>塩酸アムルピシン</p> <p>塩酸エビルピシン</p> <p>塩酸ドキシソルピシン</p> <p>塩酸ノギテカン</p> <p>酢酸ソマトレリン</p> <p>サニルブジン</p> <p>ミコフェノール酸モフェチル</p>	<p>抗腫瘍性抗生物質</p> <p>アントラサイクリン系抗悪性腫瘍剤</p> <p>アントラサイクリン系抗悪性腫瘍剤</p> <p>I型DNAトポイソメラーゼ阻害型抗悪性腫瘍剤</p> <p>下垂体成長ホルモン分泌機能検査薬</p> <p>抗ウイルス・HIV逆転写酵素阻害剤</p> <p>免疫抑制剤</p>
気腫	<p>アカルボース</p> <p>塩酸クレンブテロール</p> <p>ボグリボース</p>	<p>α-グルコシダーゼ阻害剤</p> <p>気管支拡張β₂-刺激・腹圧性尿失禁治療剤</p> <p>α-グルコシダーゼ阻害・食後過血糖改善剤</p>
気道感染	<p>インフリキシマブ (遺伝子組換え)</p> <p>エファビレンツ</p> <p>クエン酸シルデナフィル</p> <p>クラドリピン</p> <p>ザフィルルカスト</p> <p>バクリタキセル</p> <p>バリビズマブ (遺伝子組換え)</p> <p>ミコフェノール酸モフェチル</p> <p>メシル酸デラビルジン</p> <p>レフルノミド</p>	<p>抗ヒトTNFαモノクローナル抗体製剤</p> <p>抗ウイルス・HIV逆転写酵素阻害剤</p> <p>勃起不全治療剤</p> <p>抗悪性腫瘍剤</p> <p>ロイコトリエン受容体拮抗・気管支喘息治療剤</p> <p>抗悪性腫瘍剤</p> <p>抗RSウイルスヒト化モノクローナル抗体</p> <p>免疫抑制剤</p> <p>抗ウイルス・HIV逆転写酵素阻害剤</p> <p>抗リウマチ剤</p>
気道刺激症状	<p>エピネフリン</p> <p>塩酸インブレンナリン</p>	<p>副腎髄質ホルモン</p> <p>β₂-刺激剤</p>

	臭化イプラトロピウム ストメリンD 硫酸オルシブレナリン 硫酸サルブタモール	抗コリン性気管支収縮予防 常息吸入治療剤 気管支拡張β2-刺激剤 気管支拡張β2-刺激剤
気道出血	ザナミビル水和物	抗インフルエンザウイルス剤
気道閉塞	塩酸カルテオロール 塩酸クレンブテロール 塩酸ノギテカン 塩酸ブプレノルフィン ジアゼパム	β-遮断剤 気管支拡張β2-刺激・腹圧性尿失禁治療剤 I型DNAトポイソメラーゼ阻害型抗悪性腫瘍剤 中枢性鎮痛剤 マイナートランキライザー
胸部X線異常	塩酸セフェピム 注射用塩酸ビラルピシン クラドリピン セフジトレンピボキシル セフミノクスナトリウム	セフェム系抗生物質 アントラサイクリン系抗悪性腫瘍剤 抗悪性腫瘍剤 セフェム系抗生物質 セファマイシン系抗生物質
胸膜炎	インターフェロンアルファ インターフェロンアルファ-2b (遺伝子組換え) インフリキシマブ (遺伝子組換え) クラドリピン サラゾスルファピリジン シタラビン メサラジン メシル酸プロモクリプチン メシル酸ベルゴリド	天然型インターフェロン 遺伝子組換え型インターフェロン 抗ヒトTNFαモノクローナル抗体製剤 抗悪性腫瘍剤 潰瘍性大腸炎治療・抗リウマチ剤 代謝拮抗性抗悪性腫瘍剤 潰瘍性大腸炎・クローン病治療剤 持続性ドパミン作動変角アルカロイド誘導体・抗パーキンソン剤 抗パーキンソン剤
胸膜線維症	メシル酸プロモクリプチン メシル酸ベルゴリド	持続性ドパミン作動変角アルカロイド誘導体・抗パーキンソン剤 抗パーキンソン剤
去痰困難	塩酸エドナスチン 塩酸ピレンゼピン フマル酸クエチアピン レビリナスト	アレルギー性疾患治療剤 胃炎・消化性潰瘍治療剤 抗精神病, D2・5-HT2拮抗剤 気管支喘息基礎治療プロドラッグ剤
結核	インフリキシマブ (遺伝子組換え) 乾燥BCG ミコフェノール酸モフェチル 硫酸カナマイシン 硫酸ストレプトマイシン	抗ヒトTNFαモノクローナル抗体製剤 結核予防ワクチン・抗悪性腫瘍剤 免疫抑制剤 アミノグリコシド系抗生物質 アミノグリコシド系抗生物質
好酸球性肺炎	アジスロマイシン水和物 アスポキシシリン アンピシリンナトリウム・スルバクタムナトリウム	15員環マクロライド系抗生物質 合成ペニシリン β-ラクタマーゼ阻害剤配合抗生物質

	エトドラク 塩酸イミプラミン 塩酸クロミプラミン 塩酸マプロチリン 塩酸メキシレチン オフロキサシン ザフィルルカスト セフォペラゾンナトリウム トシル酸トスフロキサシン PL顆粒 ブシラミン ブランルカスト水和物 メサラジン レボフロキサシン	インドール酢酸系消炎鎮痛剤 抗うつ剤・遺尿症治療剤 うつ病・遺尿症治療剤 四環系抗うつ剤 不整脈治療・糖尿病性神経障害治療剤 ニューキノロン系抗菌剤 ロイコトリエン受容体拮抗・気管支喘息治療剤 セフェム系抗生物質 ニューキノロン系抗菌剤 総合感冒剤 抗リウマチ剤 ロイコトリエン受容体拮抗剤 潰瘍性大腸炎・クローン病治療剤 ニューキノロン系抗菌剤
呼吸緩徐	抱水クロラール	催眠・抗けいれん剤
呼吸窮迫症候群	イオメブロール シタラピン ジノスタチンステマラマー タクロリムス水和物 ナルトグラスチム（遺伝子組換え） フィルグラスチム（遺伝子組換え） レノグラスチム（遺伝子組換え）	非イオン性造影剤 代謝拮抗性抗悪性腫瘍剤 ネオカルチノスタチン誘導体抗がん剤 免疫抑制・アトピー性皮膚炎治療剤 遺伝子組換えヒトG-CSF誘導体 G-CSF製剤 G-CSF製剤
呼吸困難	アクタリット アクチノマイシンD アザチオプリン アシクロビル アジスロマイシン水和物 アスゲン アストモリジンD, -M アスピリン アスピリン・アスコルビン酸 アスピリン・ダイアルミネート アスポキシリン アセトアミノフェン アセメタシン アテノロール アプロチニン液 アミドトリゾ酸ナトリウムメグルミン アミドトリゾ酸メグルミン注射液	疾患修飾性抗リウマチ薬 (DMARD) 抗腫瘍性抗生物質 免疫抑制剤 抗ウイルス剤 15員環マクロライド系抗生物質 鎮咳去痰剤 喘息治療剤 サリチル酸系解熱鎮痛・抗血小板剤 解熱鎮痛剤 解熱鎮痛・抗血小板剤 合成ペニシリン アミノフェノール系解熱鎮痛剤 インドメタシンプロドラッグ β 1-遮断剤 タンパク分解酵素阻害剤 直接膵管胆道・逆行性尿路・関節・唾液腺・消化管造影剤 直接膵管胆道造影剤

アミノフィリン	キサンチン系強心・利尿剤
アムホテリシンB	ポリエンマクロライド系真菌症治療剤
アモキサピン	三環系抗うつ剤
アモキシシリン	合成ペニシリン
アラセプリル	ACE阻害剤
アルガトロバン	選択的抗トロンピン剤
アルテプララーゼ (遺伝子組換え)	血栓溶解剤 (t-PA製剤)
アルプロスタジル	プロスタグランジンE ₁ 誘導体
アルプロスタジルアルファデクス	プロスタグランジンE ₁ 誘導体
アロプリノール	キサンチンオキシダーゼ阻害剤・高尿酸血症治療剤
アンギオテンシンII (ヒト型)	がん昇圧化学療法用
安息香酸リザトリプタン	5-HT _{1B/D} 受容体作動型片頭痛治療剤
アンピシリンナトリウム・スルバクタムナトリウム	β -ラクタマーゼ阻害剤配合抗生物質
アンレキサノクス	アレルギー性疾患治療剤
イオキサグル酸	尿路・血管造影剤
イオキシラン	非イオン性X線造影剤
イोजキサノール	非イオン性等浸透圧造影剤
イオタラム酸ナトリウム注射液	イオン性造影剤
イオタラム酸メグルミン注射液	イオン性造影剤
イオトロクス酸メグルミン	胆のう・胆管造影剤
イオバミドール	非イオン性尿路・血管造影剤
イオブロミド	非イオン性尿路・血管造影剤
イオヘキソール	非イオン性造影剤
イオベルソール	非イオン性造影剤
イオメプロール	非イオン性造影剤
イソニアジド	結核化学療法剤
イソニアジドメタンスルホン酸ナトリウム	結核化学療法剤
イソプロピルアンチピリン	解熱鎮痛剤
イトラコナゾール	トリアゾール系抗真菌剤
イブプロフェン	フェニルプロピオン酸系解熱消炎鎮痛剤
イミグルセラゼ (遺伝子組換え)	遺伝子組換えゴーシェ病治療剤
イミベネム・シラスタチンナトリウム	カルバペネム系抗生物質
インスリン	膵臓ホルモン
インスリンアスパルト (遺伝子組換え)	膵臓ホルモン
インスリンリスプロ (遺伝子組換え)	膵臓ホルモン
インターフェロンアルファ	天然型インターフェロン
インターフェロンアルファ-2b (遺伝子組換え)	遺伝子組換え型インターフェロン
インターフェロンアルファ-2a (遺伝子組換え)	遺伝子組換え型インターフェロン
インターフェロンアルファコン-1 (遺伝子組換え)	遺伝子組換え型インターフェロン